

4年 総合 すべての人にやさしい社会を ブックトーク

みなさん、いよいよ東京で開かれることになったスポーツ大会。

どんな大会かわかりますか？

(オリンピック)

そうですね。今からとっても楽しみです。

実は・・・もう一つのオリンピックと呼ばれているスポーツ大会があることを、みなさんは知っていますか？

(パラリンピック)

パラリンピックとは、体の不自由な人たちが参加する大会です。

最初は、本格的なものではなかったのですが、今はアスリートによる競技スポーツへと発展しています。

サッカーや柔道、陸上競技やアルペンスキーなどたくさんの参加競技がありますが、最初は「車いす」に乗っている人が対象の大会でした。

車いすでのスポーツはたくさんありますが、ここではバスケットボールと出会った熱血スポーツマンを紹介したいと思います。

「車いすバスケで夢を駆ける」金の星社

・この本は、つらい気持ちの中で出会った、車いすバスケットボールで3度パラリンピックに出場した京谷和幸さんのことが書かれています。

京谷さんは、元Jリーグの選手です。

Jリーグができて、わずか半年、ジェフ市原のミッドフィルダーだった彼は交通事故にあいました。

お医者さんから「もう治りません。これからは車いすの生活になります。」そう言われた後、「はい、わかりました。」としか答えられなかったそうです。

しかし、彼はこう考えました。「サッカーができなくなることをくよくよ考えることが今やるべきことか？今やるべきことをしないとダメだ。」と。

その気持ちがそれまでの悩みや不安を吹き飛ばしてくれ、これからの進むべき道を示してくれたのです。

そんな京谷さんになくてはならないものが「車いす」です。

「車いす」には、どのような種類があるのでしょうか？

「スポーツをとおして」未来をささえる福祉の現場4 岩崎書店

・日常生活用車いす、競技用走者車いす、バスケットボール用車いす、テニス用車いす などが 있습니다。

この本には他にもスポーツをするための様々な道具がのっています。

「車いす」を利用するのは、人間だけではありません。

「げんきです、車いすの犬花子」ポプラ社

そんな犬たちの車いす屋さんがいます。

「フントの車いす屋さん」佼成出版社

・足立圭二さんは、フント（ドイツ語で犬）の車いす屋さんとして忙しい日々を送っています。

もともと手先が器用で、物づくりの得意な足立さんは、あるテレビ番組で病気や事故により歩くことのできなくなってしまった犬とその存在を知りました。

そして、これをきっかけに犬専用の車いすを作るようになったのです。

こうして、体が不自由でも、その部分をおぎない普通の生活がおくれたり、スポーツを楽しんだりすることができるようになってきました。

では、体が不自由とは、いったいどんなことでしょう。
足が不自由だという他に、どんなことがあるのでしょうか？

みなさん、目をつぶってください。

そして、机の中にある筆箱の中から一番長いえんぴつを出してみましょう。

☆子どもたちにやらせる。

とても難しかったですでしょう。

目の不自由な人は、どのようにして字をよんだり自分の思っていることや考えを書いたりするのでしょうか？

(点字)

そうですね。点字をつかいます。

みなさんは、点字を自分でうって見たんだよね。

「しらべよう！りかいしよう！点字の世界①②③」岩崎書店

・この本では、①点字の特徴や読み方、歴史、②点字を楽しむためにはどうするのか、③身の回りの点字を探したり目の不自由な人のくらしが書かれています。

では、クイズです。

問1. 点字では、文字しか書けません。

答え・×

図形や写真、地図や迷路なども表せます。

☆他にも点字で表せる文字はあるのでしょうか？

問2. みなさんは図書館は好きですか？目の不自由な人のための図書館はあるのでしょうか。

答え・○

点字図書館があります。愛媛県では、松山市に「愛媛県総合福祉センター」があります。

☆点字図書館では、どれくらいの本があるのでしょうか。

また、点字の他にも目の不自由な人が楽しめる本はあるのでしょうか。

問3. 今の点字を完成させた人は誰ですか？

答え・ルイ・ブライユ (フランス人)

☆点字がつくられるヒントになったのは、暗号用文字でした。200年前にフランスのシャルル・バルビエという軍人が夜暗い時でも手でさわっただけで読める暗号用文字として考えついたものです。

そこに関心をもったのが「ルイ・ブライユ」でした。

「暗やみの中のきらめき 点字をつくったルイ・ブライユ」汐文社

・この本は、レオというフィンランド人の少年の物語でもあります。

レオは現代に生きていて、点字を使って本を読んだり、文章を書いたりしています。レオの担任のサミ先生は、レオにある男の子の話をします。それが、ルイ・ブライユでした。自分自身も盲目であったブライユはどんな思いで点字を発明したのでしょうか。現代に生きるレオをとおしてブライユの人生が語られます。

では、点字を日本語でも使えるように努力した人は誰でしょう。

「闇を照らす六つの星 石川倉次」汐文社

・石川倉次は点字で日本語をあらわすことに成功した人です。日本点字の父とも言われている人です。

目も見えず、耳も聞こえず、しゃべることもできなくなった少女がいました。

「ヘレン・ケラー」ひさかたチャイルド

・耳が聞こえないと、話すことはむずかしいことなのです。

耳の不自由な人は、どのようにして自分の思っていることや考えていることを伝えるのでしょうか？

☆子どもたちに聞く。

(手話)

そうですね。耳の不自由な人は「手話」で自分の気持ちを相手に伝えます。

「しゅわしゅわ村の おいしいものなーに？」偕成社

「しゅわしゅわ村の どうぶつたち」偕成社

手話クイズ 6問

「手話」では、手だけでなく体をつかったり、表情もとても大切です。

たとえば、「こわい」のときは、こわそうな顔をするといいいんです。

では、みなさんも「泣く」でやってみましょう。悲しそうな顔で……！

目や耳、体の不自由な人たちが、困らず幸せに生活していけるために、私たちは何ができるのでしょうか？

このパネルを見て下さい。(パネルを見せる)

- 盲導犬サーブ
- 聴導犬ミミ
- 介助犬
- 読書介助犬 オリビア
- はたらく犬たち①

これらの犬は、体の不自由な人が安心して生活できるように活躍しています。

どのような訓練を受け、どのような仕事をするのでしょうか？

「盲導犬 サーブ」

・サーブには、足が3本しかありません。ある雪の日の朝、サーブは事故にあいます。突っ込んでくる車からユーザーさんを守って、左前足の神経がずたずたに切れてしまいました。盲導犬は、普段はユーザーさんの指示に従って行動しますが、ご主人の危機となれば、とっさにそれ以外の行動ができるのです。

「盲導犬アンドリューの1日」ポトス出版

・盲導犬アンドリューの目をとうして、ご主人をいかに安全に導くかをわかりやすく、ときにユーモラスに描いた絵本です。

☆新居浜市にも、現在1頭の盲導犬がいます。名前をヴェロアといいます。

わたしたちも、活躍する犬たちに負けてはいられません。

みなさんは、今までブックトークを聞いてきて、自分には必要ないけど……体の不自由な人には必要なものなんだと思っていないですか？

でも、私たちはみんな年をとります。年をとれば誰でも目や耳や体が不自由になるのです。

そして、いつ事故にあったり病気になったりするかもしれません。

くらしやすくするということは、障がいをもっている人たちだけの問題ではなく、わたしたちみんなの問題なのです。

誰もが安心して、したいことができ、また阻止されないことを

「バリアフリー」といいます。

バリア（壁・障害物）フリー（自由な・開放された）

わたしたちの周りには、どんな「バリア」があり、またそれを「バリアフリー」に変えているのでしょうか？

「バリアフリーなんでも事典」小峰書店

目の不自由な人 点字 本だけではありません。どのようなところに点字は使われているのでしょうか。
白杖
盲導犬

耳の不自由な人 手話
TV映画 字幕放送

体の不自由な人
(車いす) 階段・・・スロープ

他にもたくさんあります。調べてみてね。

バリアフリーの1つに「ユニバーサルデザイン」があります。

バリアフリーは、今の生活のなかのバリアを取り除くことです。

ユニバーサルデザインは、最初から物や環境を誰もが使いやすい形やデザインにすることです。

ですから、ユニバーサルデザインは障がいがある人もない人もまた、子どもも大人も誰もが使いやすいとダメなのです。

「みんなのユニバーサルデザイン①~⑥」学研

・この本にはユニバーサルデザインされたものがたくさんでできます。

例えば

「マーク記号の大百科⑥」

・マークや記号であらわされたものもたくさんあります。

マークにすると誰にでもわかりやすいですね。

「外国からきた人といっしょに」岩崎書店

・例えば、外国から来た人で日本語が分からない人でもマークや記号を見るとわかることがたくさんあります。

その中でも、世界中で同じ約束で使われているマークをピクトグラムと言います。

わたしたちが、普段何気なく入っているお店や建物にもさまざまなバリアフリーやユニバーサルデザインが使われています。

「みんながつかうたてものだから」偕成社

・今日は市民合唱団の音楽会です。

お母さんが市民ホールで歌うので家族みんなで市民ホールに出かけていきます。

市民ホールには、さまざまな工夫がされていて・・・。

こんなに誰にでも使いやすくしてくれているのか、よくわかる絵本です。

最後に・・・

「わたし いややねん」偕成社

を紹介したいと思います。

☆全文よみかせ

障がいをもつ人たちは、どんな思いで生活をしているのでしょうか。

わたしたちにどうしてほしいと願っているのでしょうか？

どんなにくらしやすく工夫してみても、それだけではダメですね。

一番大切なのは相手の気持ちになって考える思いやりの気持ちなのです。

すべての人にやさしい社会を

4年 総合

() 組 名前 _____

紹介した本	出版社	参考にしてほしい本	出版社
(体が不自由) 車いすバスケットで夢を駆ける スポーツをとおして (未来をささえる福祉の現場4) げんきです、車いすの犬 花子 フントの車いす屋さん	金の星社 岩崎書店 ポプラ社 佼成出版社	からだの不自由な友だち わたしの足は車いす さっちゃんのまほうのて	金の星社 あかね書房 偕成社
(目が不自由) しらべよう！りかいしよう！ 点字の世界①②③ 暗やみの中のきらめき 点字をつくったルイ・ブライユ 闇を照らす六つの星 石川倉次 ヘレン・ケラー	岩崎書店 汐文社 汐文社 ひさかたチャイルド	新・点字であそぼう 点字どうぶつえん はじめてであう点字のひみつ	同友館 同友館 岩崎書店
(耳が不自由) しゅわしゅわ村のおいしいものなーに？ しゅわしゅわ村のどうぶつたち	偕成社 偕成社	きこえの障がいてなあに？	明石書店
(わたしたちにできること) はたらく犬たち① 盲導犬 サーブ 盲導犬 アンドリュウの1日	ポトス出版	えらいぞ サーブ！ 聴導犬 読書介助犬 オリビア	すずき出版
バリアフリーなんでも事典 みんなのユニバーサルデザイン①～⑥ マーク記号の大百科⑥ 外国からきた人といっしょに みんながつかうたてものだから	小峰書店 学研 岩崎書店 偕成社	妖怪バリアーをやっつけろ！ 世界のマーク ちょボラでバリアフリーの まちづくり	生活書院 主婦の友社 学習研究所
わたし いややねん	偕成社	てとてとてとて	福音館書店